

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 2
開講期間 / Class period	2015/09/28 ~ 2016/03/31		
必修選択 / Required/Elective class	選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20150586008102	科目番号 / Subject code	05860081
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	環境をめぐる諸問題 (地球温暖化を考える)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	高尾 雄二		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	高尾 雄二		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	高尾 雄二, 河本 和明, 富塚 明, 和達 容子		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	教養教育A棟13		
対象学生 (クラス等) / Object Student	教育, 経済, 薬学, 水産		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	高尾雄二 (takao@nagasaki-u.ac.jp), 河本和明, 富塚 明, 和達容子		
担当教員研究室 / Laboratory	環境科学部 3階, 2階, 4階		
担当教員TEL / Tel	内線2753		
担当教員オフィスアワー / Office hours	月曜日9:00-10:30		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	温室効果のしくみを学び、それに伴う気象および気候の変化を学ぶ。また、関連する国際条約の成立過程や内容について学び、国家間の立場の違いや国際社会への影響について考える。さらに、化石燃料の燃焼に伴い発生する大気汚染やエネルギー問題の現状を学ぶ。これらによって、地球温暖化の防止が技術的かつ国際的に複雑な問題であることを理解し、改善のための手法を提案し、予想される困難を考える。		
授業到達目標 / Goal	温暖化の仕組みやそれに密接に関連する重要項目および国際関係を理解し人に説明することが出来る。		
授業方法 (学習指導法) / Method	グループワークを組み込み、予習を前提にしたアクティブラーニング方式、または、講義後に小テストまたは班別討議等を行う。講義のレベルおよび内容は、学部混合型であることを前提に、できるだけ平易な表現を使って、理解しやすい内容を提供する予定です。		
授業内容 / Class outline / Con	第1回 オリエンテーション 概要と進め方, 班分け, Web Class登録の説明 第2回 地球大気の特徴 第3回 気候を決める仕組み 第4回 気候変動の要因 第5回 将来の気候 第6回 閉じた地球と化石燃料 第7回 燃焼と大気汚染, さまざまな発電方式の比較 第8回 資源と太陽エネルギーの起源 第9回 エネルギー保存と物体の温度 第10回 温室効果ガスと地球温暖化 第11回 再生可能エネルギー活用の現状と展望 第12回 地球温暖化に係る国際条約の成立(1) 第13回 地球温暖化に係る国際条約の成立(2) 第14回 地球温暖化問題と国際政治の関係(1) 第15回 地球温暖化問題と国際政治の関係(2) 第16回 定期試験		
キーワード / Key word	温室効果, 地球温暖化, 物質収支, エネルギー収支, 化石燃料, 各国の立場		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	特に指定はなし。予習時に各自で調べる。必要があれば配布する。		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	予習も含めて授業への積極的な参加(20%), レポートや小テスト(20%), 発表内容(10%), 期末試験(50%) 班による活動を中心とした授業形式であるため休みがちまたは予習をさぼりがちな人は班員に多大な迷惑が生じますので、欠席と未予習に対しては厳しい評価をします。		
受講要件 (履修条件) / Requirements	LACSを使って予習課題の確認。レポート提出などの作業があります。		
学生へのメッセージ / Message for students	班行動や宿題があります。5回休むと単位を取得できません。		

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	月/Mon 1
開講期間 / Class period	2015/09/28 ~ 2016/03/31		
必修選択 / Required/Elective class	選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20150586009301	科目番号 / Subject code	05860093
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	環境をめぐる諸問題 (生物多様性を考える)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	井口 恵一朗		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	井口 恵一朗		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	井口 恵一朗, 吉田 謙太郎, 山口 典之		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	教養教育A棟13		
対象学生 (クラス等) / Object Student	1年, 2年, 3年, 4年		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	keyichi@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Laboratory	環境科学部3階317		
担当教員TEL / Tel	819 - 2745		
担当教員オフィスアワー / Office hours	空いている時間ならば随時		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	生物多様性に関する基礎知識を学ぶとともに、保全生物学における生物多様性の応用例を紹介し理解を深める。		
授業到達目標 / Goal	生物多様性に関して、成立過程、保全上の位置付け、政策における取り扱い等について、問題意識を醸成する。そして、持続可能性に資する提案を行うに足る創造力を養う。		
授業方法 (学習指導法) / Method	ワーポイントや配布資料に基づく講義で理解度をあげ、演習問題などを解くことで自分で考える訓練をする。また、レポートや中間テストにより理解度を判定する。		
授業内容 / Class outline/Con			
キーワード / Key word	生物多様性 生態系 環境政策		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	R. プリマック著 「保全生物学のすすめ」文一総合出版 樋口広芳編 「保全生物学入門」東京大学出版会 鷲谷いづみ・矢原徹一 「保全生態学入門」東京大学出版会 吉田謙太郎著 『生物多様性と生態系サービスの経済学』昭和堂 Millennium Ecosystem Assessment (編), 横浜国立大学 21 世紀 COE 翻訳委員会 (訳) (2007) 生態系サービスと人類の将来 国連ミレニアムエコシステム評価, オーム社 .		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	試験およびレポート (100%)		
受講要件 (履修条件) / Requirements	テキストは特になし。		
学生へのメッセージ / Message for students	報道関係や書籍でも生物多様性について取り上げてものが多く見られます。目や耳にした時には、その内容を吟味することで、学習効果が更に上がります。		
授業計画詳細			
回 (日時) / Time (date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	ガイダンス (井口)		
第2回	大量絶滅時代 (井口)		
第3回	里山考 (井口)		
第4回	外来生物 (井口)		
第5回	希少生物 (井口)		
第6回	生物多様性保全の基礎概念 (吉田)		
第7回	生物多様性と国際条約 (吉田)		
第8回	生物種の保護政策 (吉田)		
第9回	生態系の保護政策 (吉田)		
第10回	生物多様性保全の各国事例 (吉田)		
第11回	遺伝的多様性: その成因と機能 (山口)		
第12回	種多様性: 種の創出機構と維持機構 (山口)		
第13回	絶滅: 環境要因、競争排除、生息地消失、外来種問題 (山口)		
第14回	生態系多様性: 生態系の構造と複雑性、複数生態系のつながり (山口)		

第15回	ミレニアム生態系評価：生態系の機能とサービス、人間の福利との関係（山口）
第16回	予備

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	火/Tue 1
開講期間 / Class period	2015/09/28 ~ 2016/03/31		
必修選択 / Required/Elective class	選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20150586009701	科目番号 / Subject code	05860097
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	環境をめぐる諸問題 (都市環境を考える)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	渡辺 貴史		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	渡辺 貴史		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	渡辺 貴史, 片山 健介, 杉山 和一		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	教養教育C棟16		
対象学生 (クラス等) / Object Student	教育学部, 経済学部, 薬学部, 水産学部		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	twatanab@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Laboratory	環境科学部4F 430		
担当教員TEL/Tel	095-819-2718		
担当教員オフィスアワー / Office hours	水曜日 13:00 ~ 14:00		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	<p>授業の概要: 第1回目は、本講義の概要、本講義の全体を通じて基礎となる知識を説明する。以降は、担当教員の専門分野にもとづき、景観(2,3,6回目)、緑地(4,5回)、音環境(7回)、市街地とまちづくり(8,11,15回)、交通(9,10回)、観光(12回)、広域計画(13,14回)に関わる講義が行われる予定である。</p> <p>授業の位置づけ: 本科目は、長崎市の都市環境を素材とした講義を通じて、多くの人が居住する都市環境を考える際の視点を獲得するための科目です。</p>		
授業到達目標 / Goal	本講義の主要な目標は、各講義を通じて、(1)長崎の都市環境をめぐる歴史と現状を理解する、(2)都市環境とは多面的な側面から構成されている、(3)都市環境の維持・発展に向けては様々な考えなければいけないことがあることを理解することです。		
授業方法 (学習指導法) / Method	本講義は、主として教科書あるいは教員が配付するハンドアウトに基づき、板書・パワーポイント等を使って展開されます。		
授業内容 / Class outline/Con			
キーワード / Key word	都市環境、景観、緑地、里山、斜面市街地、音環境、交通、観光、まちづくり、国土・地方計画		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	教科書: 谷村賢治・杉山和一・渡辺貴史(2012): もうひとつの長崎さるく 豊かな景観と育んだ歴史的個性。見洋書房。 教材: 教科書をベースに進めますが、回によってはハンドアウトを配付する予定です。 参考書: 特にありません。講義時に各教員が指示する予定です。		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	定期試験 60%、修学状況 40%		
受講要件 (履修条件) / Requirements	特になし		
学生へのメッセージ / Message for students	新聞・テレビ・インターネットなどを通じて長崎の都市環境をめぐる情報を知ることが、本講義の内容を理解する上でとても有用です。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	導入: 講義の概要、都市環境とは何か、長崎市の概要 (渡辺)		
第2回	長崎市の景観の特徴 (渡辺)		
第3回	長崎市の個性を活かした景観の形成に向けて (渡辺)		
第4回	都市環境の形成に果たす緑地の役割 (渡辺)		
第5回	長崎市の緑地の特徴 (渡辺)		
第6回	景観の基礎知識 (杉山)		
第7回	長崎の音環境 (杉山)		
第8回	長崎の斜面市街地 (杉山)		
第9回	長崎県内の地域公共交通の現状 (杉山)		
第10回	斜面市街地の交通システム (杉山)		
第11回	長崎市の中心市街地とまちづくり (片山)		
第12回	長崎市の観光を考える (片山)		
第13回	広域的にみた長崎地域の特性 (片山)		

第14回	国土・地方計画における長崎地域の位置づけ（片山）
第15回	長崎地域の活性化と官民連携（片山）
第16回	定期試験